

特定非営利活動法人 あおーら

2019年度事業報告（2019年4月1日～2020年3月31日）

○利用者の方に寄り添った支援

一人ひとりの利用者の方に真摯に向き合い、より障害が重い方に寄り添った支援を心掛けて活動を継続した。仲間と一緒に過ごすことが難しい方には、個々の特性に合った環境を提供し、ゆっくりと時間をかけながらご本人の自信を育くむ支援に心掛けた。

○事業活動

日高市に、就労移行支援事業所「わかばの家」の従たる事業所「あかつき」を開設し、日高市在住の就労を志す方の利便性の向上に貢献した。

「喫茶モナミ」の改革については課題を残した。市民と障害当事者との交流・啓発の場、福祉情報の発信拠点としての改革が望まれる。

○職員倫理綱領の制定

より質の高い福祉サービスの提供に努めるとともに、障害者と市民がともに暮らしやすい社会の実現を図るため、専門職としての資質の向上に努め、誠実に職務に当たることを目的に職員倫理綱領を制定した。

○職員のキャリアアップ

社会福祉士、精神保健福祉士の資格取得を推奨するとともに、サービス管理責任者や相談支援専門員育成の研修に職員を派遣した。また、全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）や、地域精神保健福祉機構（リカバリー）の全国大会に職員を派遣する等、職員のキャリアアップを図った。

○新型コロナウイルスへの対応

世界的規模で新型コロナウイルスが蔓延し、各国とも前例のない対応を迫られている。法人が提供するサービスは、利用者の方やご家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、日常の感染予防に努めるとともに、あおーら旅行や事業所連絡会等を中止する措置を取った。